

「牛乳乳製品健康科学会議」は、「一般社団法人Jミルク」と共同して「牛乳乳製品の価値向上に繋がる医学・栄養学・食品科学・体育学等の分野の課題」に係る学術研究を公募します。

「牛乳乳製品健康科学」 学術研究の公募



2015
12/31^木
申請締切日

平成 28 年度「乳の学術連合」学術研究 募集テーマ

特定研究

1. スポーツにおける牛乳乳製品の栄養的意義に関する研究

スポーツにおける牛乳乳製品の栄養的意義について、幅広い内容にて研究を公募する。特に、アスリートや発育期のスポーツにおける牛乳乳製品の意義に関する研究。
キーワード：発育期のスポーツ、アスリート、体力、運動後の疲労回復

2. 牛乳乳製品が免疫機能に及ぼす影響に関する研究

牛乳・乳製品あるいはその成分の免疫機能に及ぼす影響に関する基礎的・臨床的研究。特に、牛乳を摂取した際の免疫指標の変化に関する網羅的、探索的な研究や、単一の牛乳成分についての研究も対象とする。ただし、乳酸菌、プロバイオティクスに関する研究は対象としない。
キーワード：牛乳、牛乳成分、免疫機能調節、免疫指標、自然免疫、免疫寛容、免疫不全、アレルギー、感染防御、抗炎症

3. 牛乳乳製品とメンタルヘルスに関する研究

牛乳乳製品による「抗ストレス」「抗疲労」「抑うつ」などの効果に関する研究。
キーワード：睡眠、リラクセス、認知機能、生体リズム、抗ストレス、抗疲労、抑うつ

一般研究

4. 各ライフステージにおける健康と牛乳乳製品

各ライフステージについて、基礎研究を含め幅広い内容にて研究を公募する。
キーワード：妊娠期、授乳期、幼児期、学童期、思春期、青年期、壮年期、高齢期、メタボリックシンドローム、フレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、介護予防、給食

上記テーマへの申請のうち 10 件程度を採用します。

応募要項

応募資格 研究者ないし研究グループ。
委託研究費 年間一件当たり原則として 150 万円以内とします。
委託研究期間 原則 1 年間。研究内容によっては最長 3 年間とします。
選考方法 選考委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定します。

選考委員会

委員長 折 茂 肇（公益社団法人骨粗鬆症財団 理事長）
選考委員 大日向耕作（京都大学大学院農学研究科 准教授）
（委員は五十音順）
川 原 貴（国立スポーツ科学センター センター長）
桑 田 有（人間総合科学大学大学院 教授）
清 水 誠（東京農業大学応用生命科学部栄養学科 教授）
下条 直樹（千葉大学大学院医学研究科小児病態学 教授）
中村 丁次（神奈川県立保健福祉大学 学長）
細井 孝之（医療法人財団健康院クリニック 副院長）

詳しくは Web から学術研究実施要領をダウンロードしてください。 <http://m-alliance.j-milk.jp/>



牛乳乳製品健康科学会議
乳の学術連合

一般社団法人 Jミルク内「牛乳乳製品健康科学会議」事務局

〒104-0045 東京都中央区築地 4 丁目 7 番 1 号 築地三井ビル 5 階

TEL 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354

担当：高野 義彦 E-mail: y-takano@j-milk.jp

別紙 1

I. 「牛乳乳製品健康科学」学術研究の公募について（牛乳乳製品健康科学会議）

「牛乳乳製品の価値向上に繋がる医学・栄養学・食品科学・体育学等の分野の課題」に係る学術研究

1. 募集（申請）期間

平成 27 年 10 月 1 日（木）～平成 27 年 12 月 31 日（木）必着

2. 募集テーマ・内容

(1) 特定研究：最近の社会的課題や研究ニーズに対応したテーマに関する研究

	研究テーマ	内 容
①	スポーツにおける牛乳乳製品の栄養的意義に関する研究	スポーツにおける牛乳乳製品の栄養的意義について、幅広い内容にて研究を公募する。特に、アスリートや発育期のスポーツにおける牛乳乳製品の意義に関する研究 キーワード：発育期のスポーツ、アスリート、体力、運動後の疲労回復
②	牛乳乳製品が免疫機能に及ぼす影響に関する研究	牛乳・乳製品あるいはその成分の免疫機能に及ぼす影響に関する基礎的・臨床的研究。特に、牛乳を摂取した際の免疫指標の変化に関する網羅的、探索的な研究や、単一の牛乳成分についての研究も対象とする。ただし、乳酸菌、プロバイオティクスに関する研究は対象としない。 キーワード：牛乳、牛乳成分、免疫機能調節、免疫指標、自然免疫、免疫寛容、免疫不全、アレルギー、感染防御、抗炎症
③	牛乳乳製品とメンタルヘルスに関する研究	牛乳乳製品による「抗ストレス」「抗疲労」「抑うつ」などの効果に関する研究。 キーワード：睡眠、リラックス、認知機能、生体リズム、抗ストレス、抗疲労、抑うつ

(2) 一般研究：当該研究領域に関連する幅広い視点や新規性のある研究

	研究テーマ	内 容
④	各ライフステージにおける健康と牛乳乳製品	各ライフステージについて、基礎研究を含め幅広い内容にて研究を公募する。 キーワード：妊娠期、授乳期、幼児期、学童期、思春期、青年期、壮年期、高齢期、メタボリックシンドローム、フレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、介護予防、給食

3. 研究採用数

上記（１）、（２）をテーマとする研究計画の応募申請の中から 10 件程度を採用する。

4. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研

究機関等で学術研究を行っている研究者等(大学院生含む)、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とする。

5. 委託研究期間

原則として1年を超えないものとする。但し、研究の内容によっては、最長3年間まで認めるが、1年以上の期間の研究を申請する場合は、全期間にわたる研究計画・支出計画を申請書に明確に記す。なお、年度ごとに中間報告を行い、成果が認められない場合は、委託研究の中止が求められる場合がある。

6. 委託研究費

年間一件当たり原則として150万円(消費税込)以内とする。なお、複数年度の研究においては、研究年度×年間委託研究費を上限額とする

7. 選考方法

「牛乳乳製品健康科学学術研究選考委員会」が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

<選考委員会>

委員長	折茂 肇 (骨粗鬆症財団理事長)
選考委員	大日向 耕作 (京都大学大学院農学研究科 准教授)
選考委員	川原 貴 (国立スポーツ科学センター センター長)
選考委員	桑田 有 (人間総合科学大学大学院 教授)
選考委員	清水 誠 (東京農業大学応用生命科学部栄養学科 教授)
選考委員	下条 直樹 (千葉大学大学院医学研究科小児病態学 教授)
選考委員	中村 丁次 (神奈川県立保健福祉大学学長)
選考委員	細井 孝之 (医療法人財団健康院クリニック 副院長)

(委員のみ五十音順)

8. その他(問い合わせ先等)

詳しい内容は、下記 Web より<学術研究実施要領>をダウンロードしてご確認下さい。

<乳の学術連合 ホームページ> <http://m-alliance.j-milk.jp/>

<牛乳乳製品健康科学会議>

牛乳乳製品の栄養健康機能に係る学術的エビデンスを研究検証し、研究活動を通じて日本人の健康増進に貢献することを目的として、平成24年3月に設立した健康科学分野の研究者で組織される一般社団法人Jミルクの外部連携組織。代表幹事 折茂肇(骨粗鬆症財団理事長)。

<事務局・お問い合わせ先>

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7-1 築地三井ビル 5F

一般社団法人Jミルク 内「牛乳乳製品健康科学会議」事務局 担当:高野 義彦

電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354 E-mail y-takano@j-milk.jp